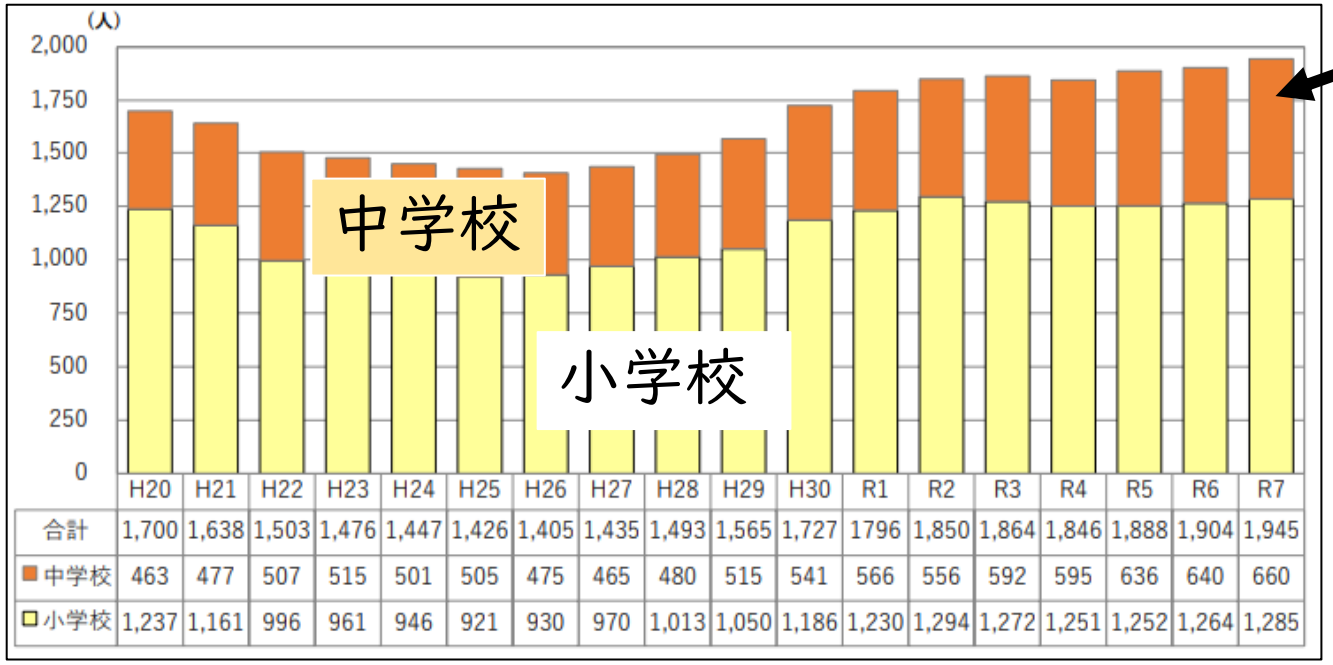
3.2.1 【報告３】浜松市 初期日本語指導拠点校「にじ」

佐々木しのぶ

浜松市の状況

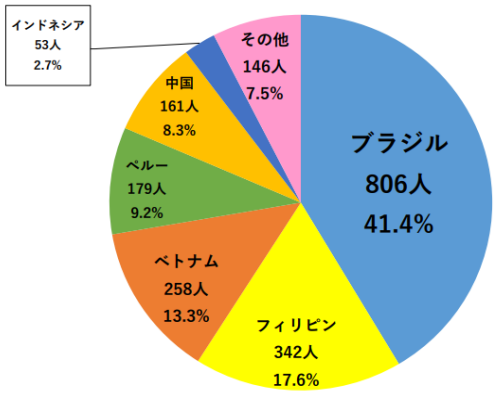
浜松市
約78万人
（外国人市民 約4%）

公立小中学校に在籍する外国籍児童生徒数の推移



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
合計	1,700	1,638	1,503	1,476	1,447	1,426	1,405	1,435	1,493	1,565	1,727	1796	1,850	1,864	1,846	1,888	1,904	1,945
■中学校	463	477	507	515	501	505	475	465	480	515	541	566	556	592	595	636	640	660
□小学校	1,237	1,161	996	961	946	921	930	970	1,013	1,050	1,186	1,230	1,294	1,272	1,251	1,252	1,264	1,285

要日本語指導
児童生徒等
1504人



28か国・28言語

「外国人子供教育支援推進事業」説明資料（浜松市教育委員会）

にじの指導体制

R6開設
にじ「浜北教室」
（浜北北部中学校 内）

浜松市地図

R４開設
にじ「江南教室」
（江南中学校 内）

◆通級対象　　小学6年生・中学生年齢で初めて日本の学校に就学する生徒

◆通級期間　　10週間（週１日は在籍校登校）

◆受入れ頻度　隔週

◆指導者　　教員１名、外国人児童生徒教科指導員２名、日本語・学習支援者２名、就学サポーター（随時）

◆「浜北教室」時間割　　＊「江南教室」在籍校登校は金曜

	月	火	水	木	金
1	在籍校登校	日本語（文型・表現）			
2		数学	社会	数学	数学
3		日本語（文型・表現）			
4		日本語（文字・語彙）			
5		英語	学活	英語	学活

週４日×５時間
×10週
＝200時間

にじの指導目標

日本の学校生活適応指導及び日本語基礎指導、
教科の基礎的な補習を受けることで、
在籍校への円滑な適応を図る。

指導目標のマトリクス

支援の視点 / 学びの段階	スキル （学びと言語）	アイデンティティ （自己と進路）
①参加する （学校生活への適応）	日本語学習への不安の軽減	安心できる環境づくり
②広げる （学びの展開）	日本語と教科の関連づけ	協働を通した自己表現
③見通す （進路の見通し）	学びの見通し	進路の見通し

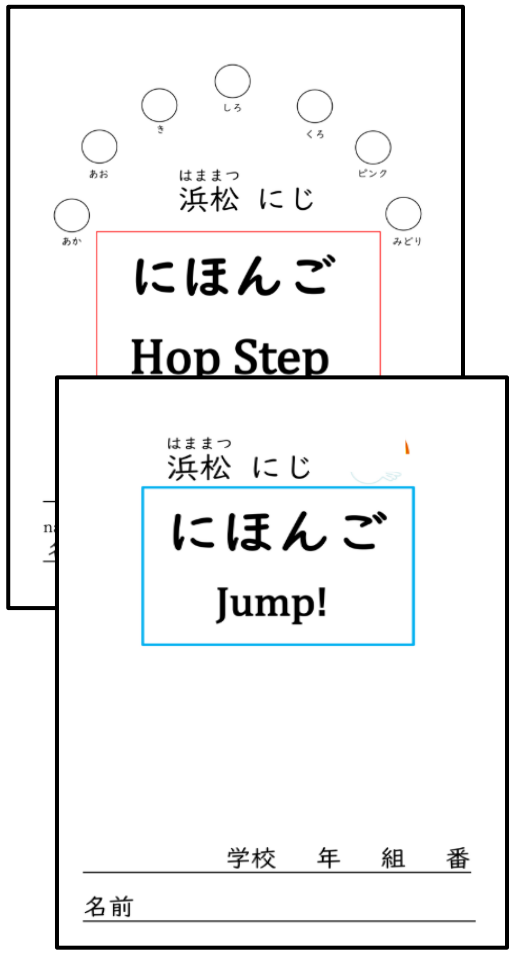
指導カリキュラム

<table>
<tr><td colspan="3">段階目標</td><td colspan="2">Hop
にじの生活に慣れよう</td><td colspan="3">Step
日本の文化・生活に慣れよう</td><td colspan="5">Jump
在籍校の生活に近づこう</td></tr>
<tr><td colspan="3">週</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr>
<tr><td colspan="3">初期適応</td><td colspan="9">挨拶、体調、身の回りのものの名前、教科名、時間割など</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本語
基礎</td><td colspan="2">文型</td><td colspan="2">名詞文</td><td colspan="7">形容詞文・動詞文</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字語彙</td><td colspan="2">ひらがな・語彙</td><td colspan="2">カタカナ・語彙</td><td colspan="5">漢字（100字程度）・語彙</td></tr>
<tr><td rowspan="3">技能別日本語</td><td colspan="2">読む</td><td colspan="6">レベル別日本語多読ライブラリー・絵本など</td><td colspan="3">国語
リライト教材</td></tr>
<tr><td rowspan="2">書く</td><td>感想</td><td colspan="9">1分間スピーチ（日直）・在籍校登校日の感想・生活日記</td></tr>
<tr><td>作文</td><td colspan="6">「This is Me」（修了スピーチ）メモ・構成</td><td colspan="3">母語作文・日本語作文</td></tr>
<tr><td colspan="3">日本語と教科の
統合学習</td><td colspan="9">数学（算数）・社会・英語（外国語）の内容と日本語を統合した学習</td></tr>
<tr><td colspan="3">教科の補習</td><td colspan="9">母国での未習分野や在籍校での学習内容の補完</td></tr>
<tr><td colspan="3">母文化・多文化共生・
キャリア教育など</td><td colspan="9">ロールモデルとの座談会、日本人学校との交流、ピア・サポート、
調理実習、進学ガイダンス等</td></tr>
</table>

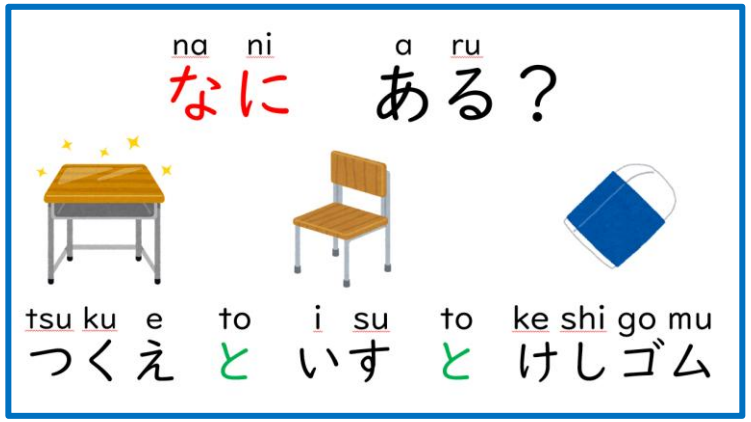
①参加する

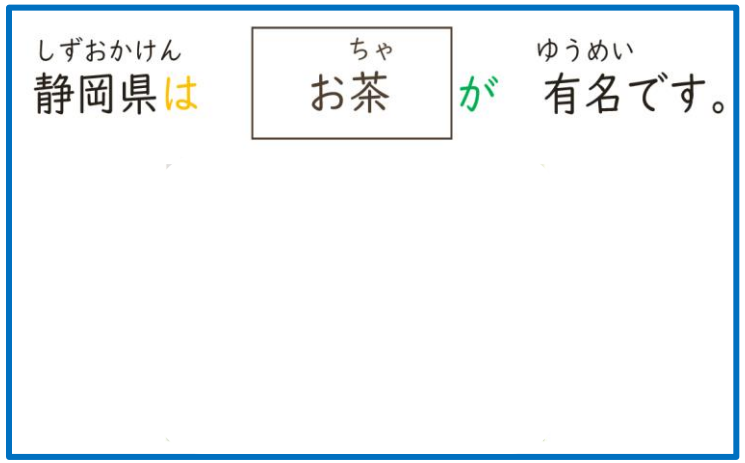
オリジナル日本語教材

◆基本冊子

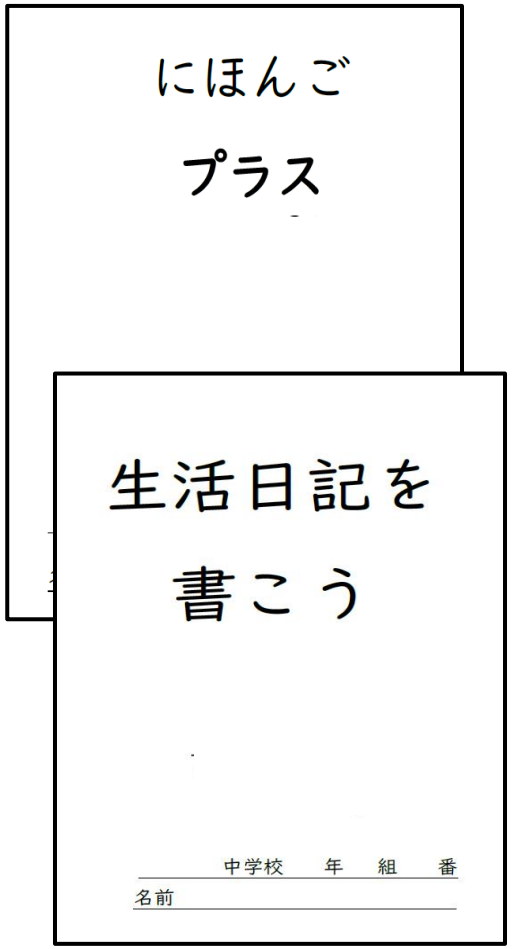


◆スライド教材





◆補助教材

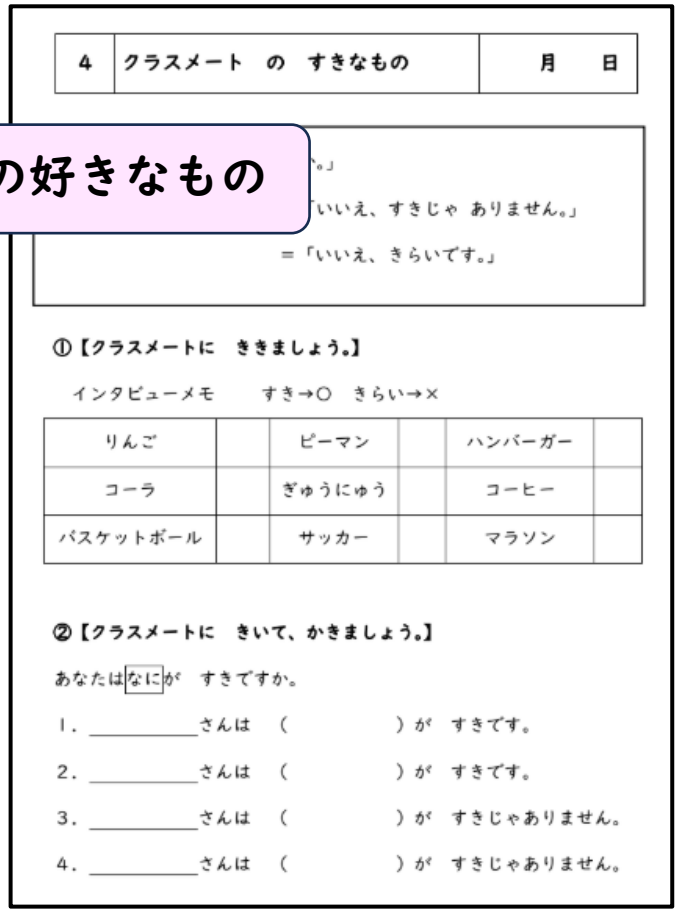


①参加する

在籍級との関わり

◆登校時のチャレンジ

クラスメートの好きなもの



4　クラスメート　の　すきなもの　　月　日

「いいえ、すきじゃ ありません。」
＝「いいえ、きらいです。」

①【クラスメートに　ききましょう。】

インタビューメモ　　すき→○　きらい→×

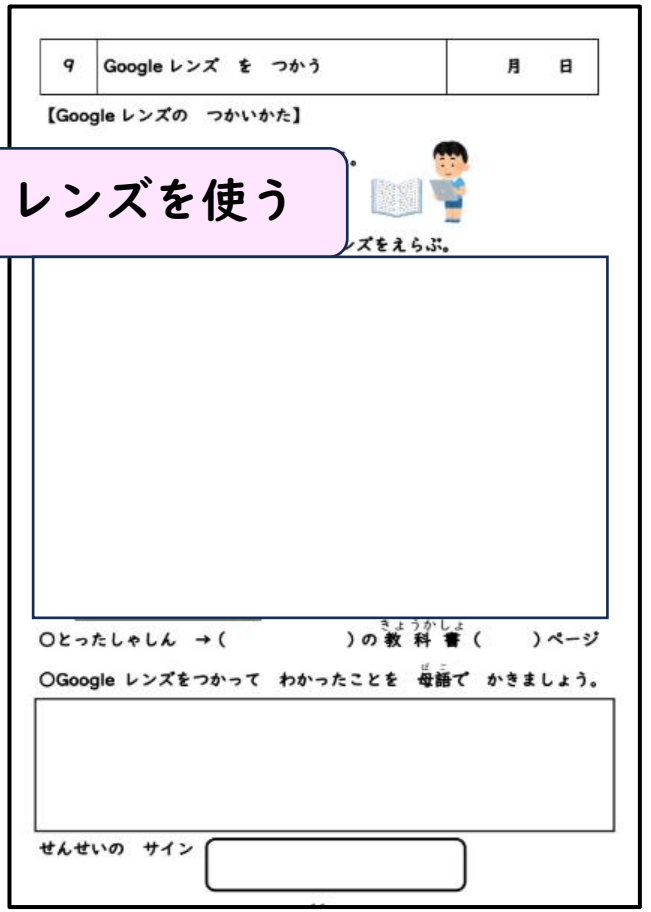
りんご		ピーマン		ハンバーガー	
コーラ		ぎゅうにゅう		コーヒー	
バスケットボール		サッカー		マラソン	

②【クラスメートに　きいて、かきましょう。】

あなたはなにが　すきですか。

1．＿＿＿＿さんは　（　　）が　すきです。
2．＿＿＿＿さんは　（　　）が　すきです。
3．＿＿＿＿さんは　（　　）が　すきじゃありません。
4．＿＿＿＿さんは　（　　）が　すきじゃありません。

Google レンズを使う



9　Google レンズ　を　つかう　　月　日

【Google レンズの　つかいかた】

ズをえらぶ。

○とったしゃしん　→（　　）の教科書（　　）ページ

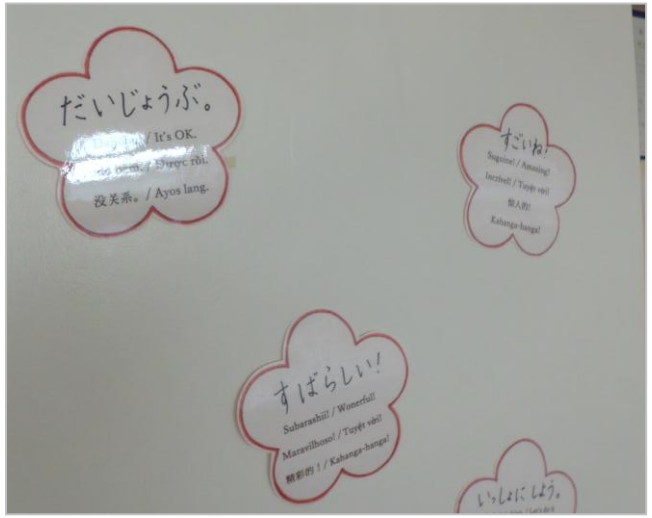
○Google レンズをつかって　わかったことを　母語で　かきましょう。

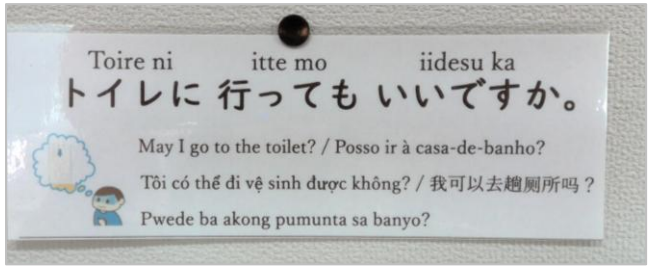
せんせいの　サイン

①参加する

日本語を使う場面づくり

◆教室内の表示

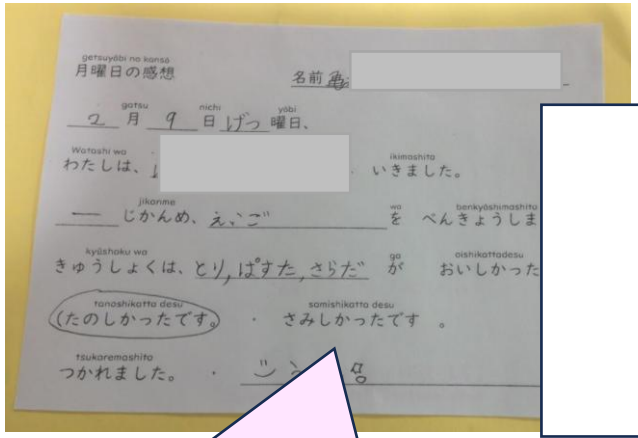




◆１人１役

写真

◆在籍校登校日の感想発表



写真

＿月＿日＿曜日、私は＿＿＿＿＿学校へ行きました。＿＿時間目、＿＿を勉強しました。給食は＿＿＿がおいしかったです。楽しかったです。・さみしかったです。・つかれました。・＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

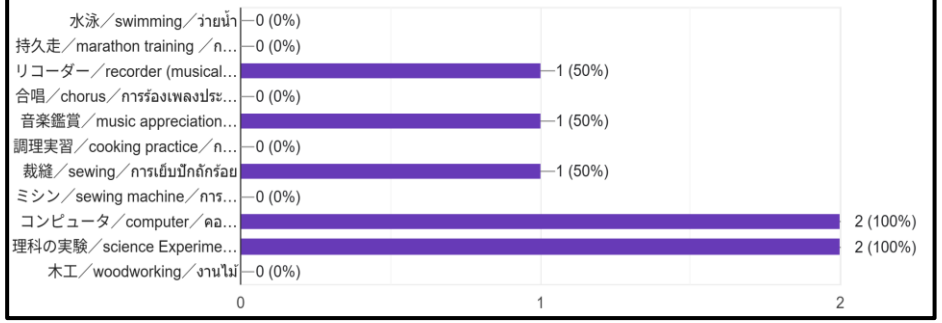
①参加する

安心できる環境づくり

◆アンケート、面談

5．母国の学校で学習したことにチェックを入れてください。／Check the boxes for what you learned in school in your home country.／ กรุณาทำเครื...สิ่งที่คุณได้เรียนในโรงเรียนที่ประเทศบ้านเกิดของคุณ

2 件の回答



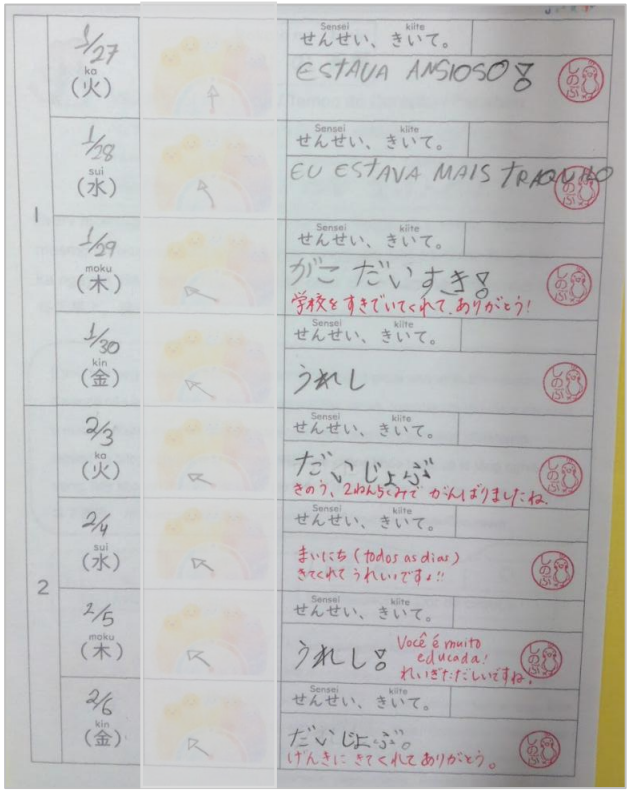
8.「私ってこんな人」と先生に教えてください。(例：絵を描くのが得意で、少し恥ずかしがり屋な人）／Please tell the teacher, "This is the kind of person I am." (Example: I'm good at drawing and a little shy.)／ กรุณาบอกคุณครูว่า "ฉัน/ผม เป็นคนแบบนี้" (ตัวอย่างเช่น วาดรูปเก่งและค่อนข้างขี้อายเล็กน้อย)

2 件の回答

I`m good at cleaning, and a little shy

ฉันฉันเล่นวอลเล่บอลความฝันของฉันคืออยากจะเป็นนักกีฬ้าโรงเรียนและฉันยังรักในการวาดรูปอีกด้วย

◆心の天気



◆ピア・サポート

写真

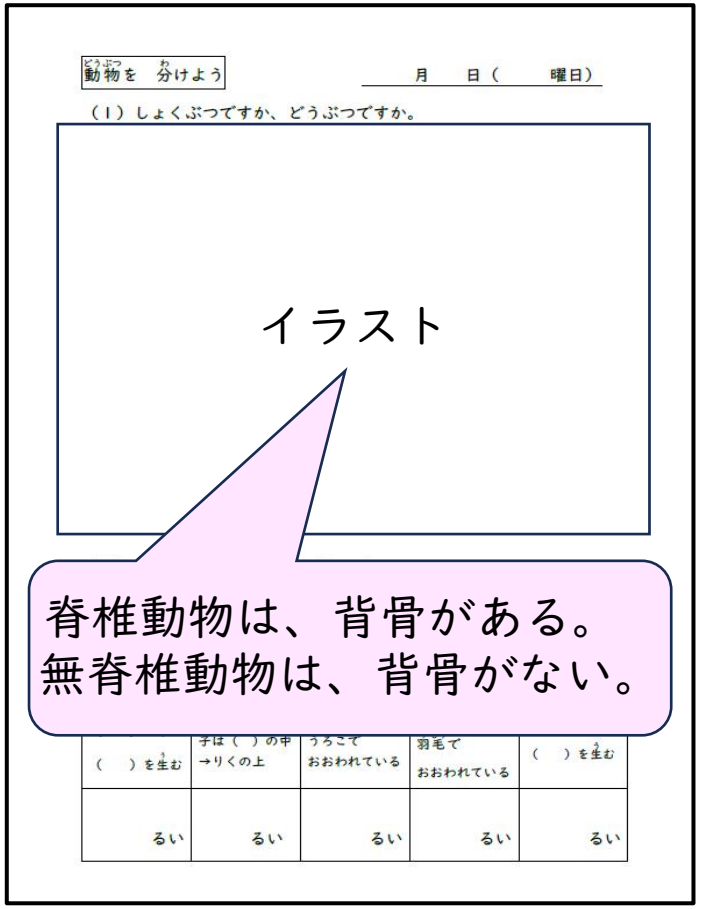
②広げる

日本語と教科の関連づけ

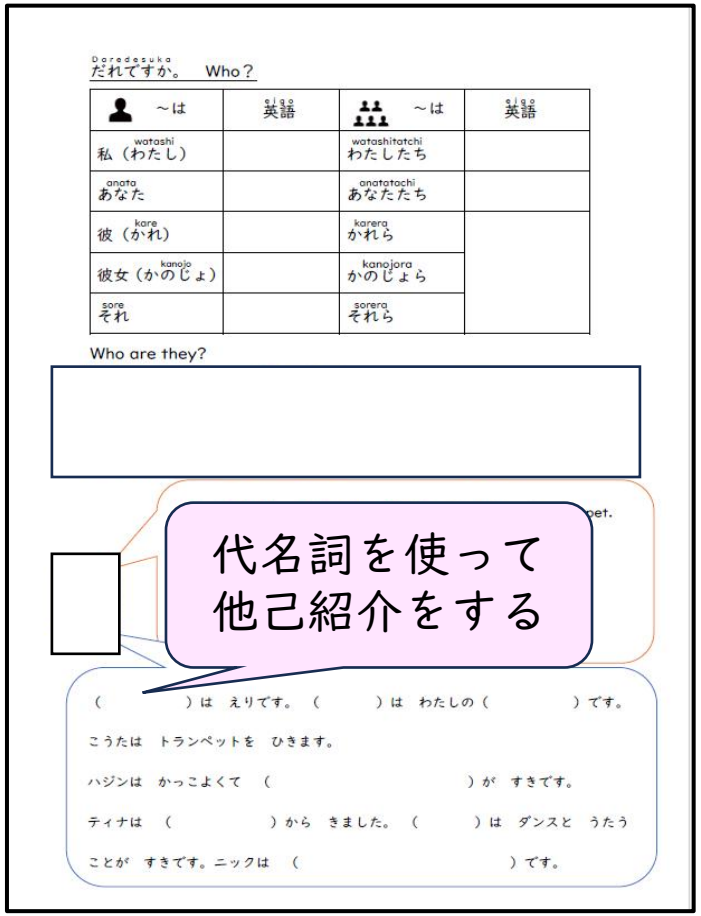
◆漢字＋むかしの暮らし

縄文時代のイラストから語彙を見つけ、漢字で表記する

◆ある・ない＋動物のなかま



◆紹介文＋英語教材

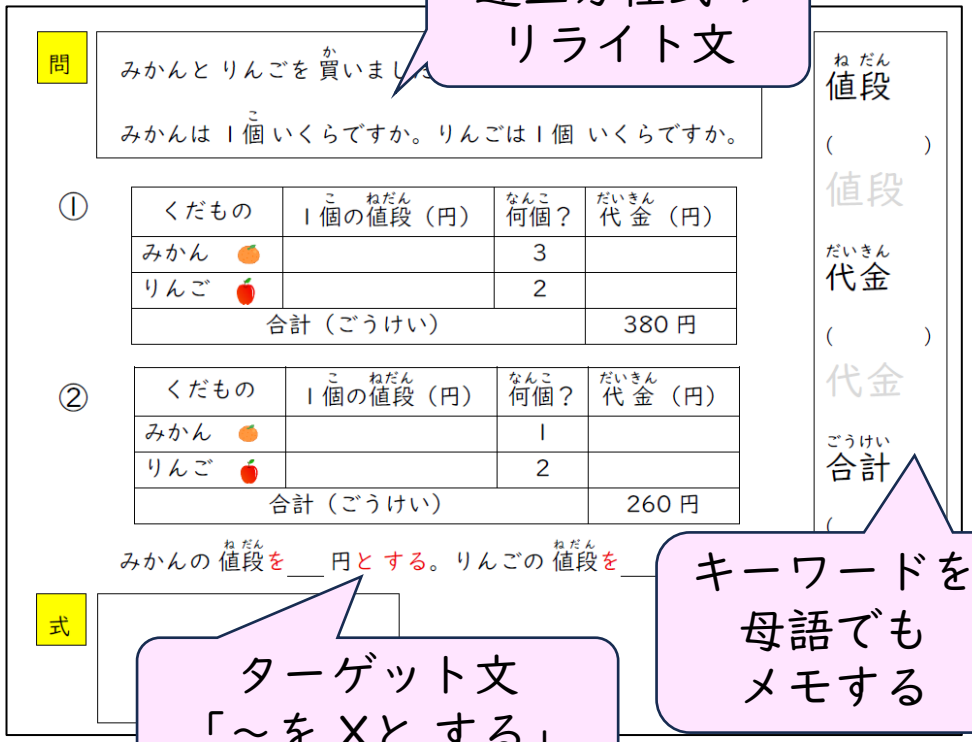


②広げる

日本語と教科の関連づけ

◆ターゲット文の明示

◆文章題の導入（数学科）

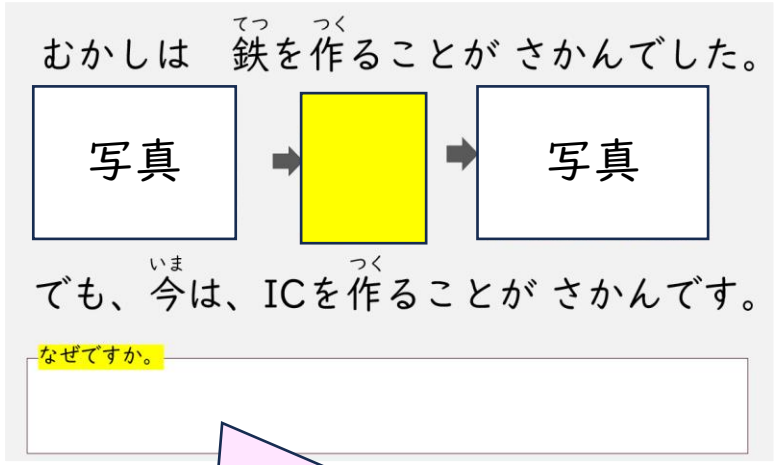


連立方程式の
リライト文

ターゲット文
「～を Xと する」

キーワードを
母語でも
メモする

◆資料をもとに理由を説明する（社会科）



九州地方の工業がなぜ変化したか、理由を考える

②広げる

協働を通した自己表現

◆助け合いの連鎖

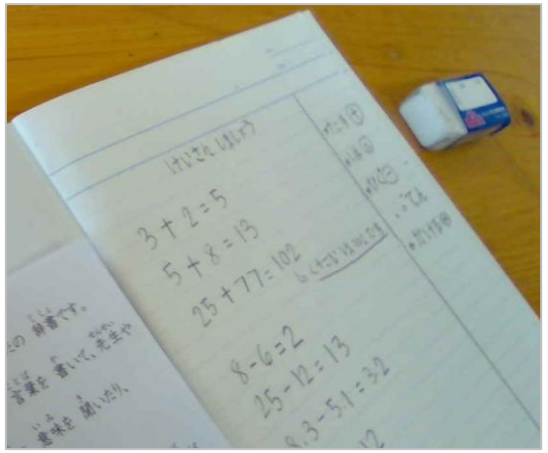
◆発表

◆学級活動

③見通す

学びの見通し

◆教科書、ノート、ICT活用



写真

写真

◆わたしの辞書

写真

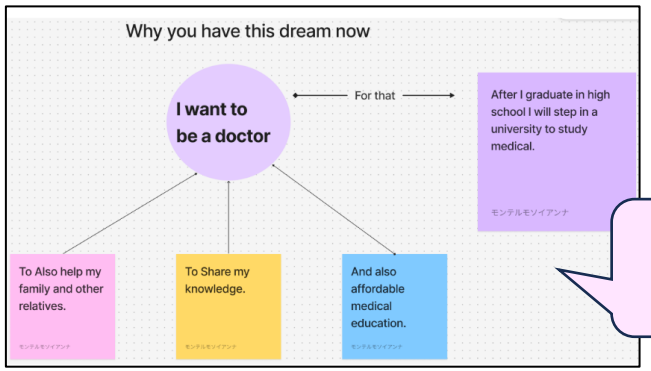
写真

写真

③見通す

学びの見通し

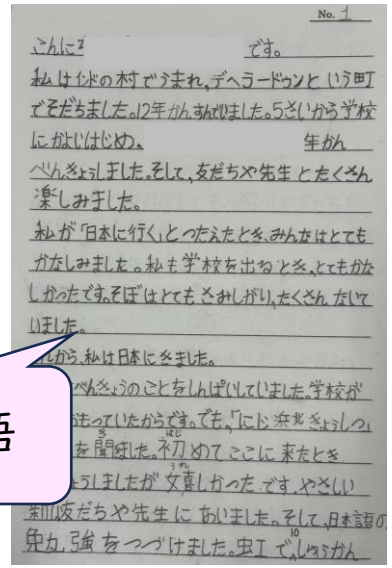
◆修了式スピーチ発表「This is Me」



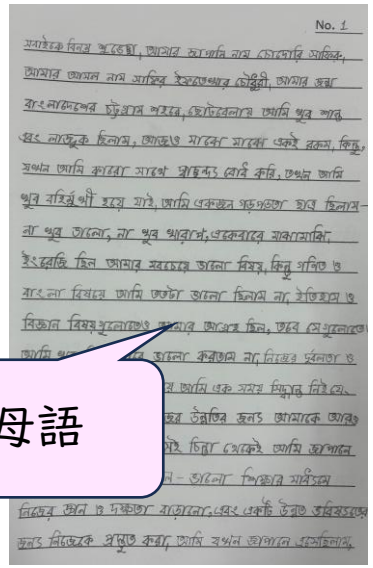
思考ツールを使って

写真

写真



日本語



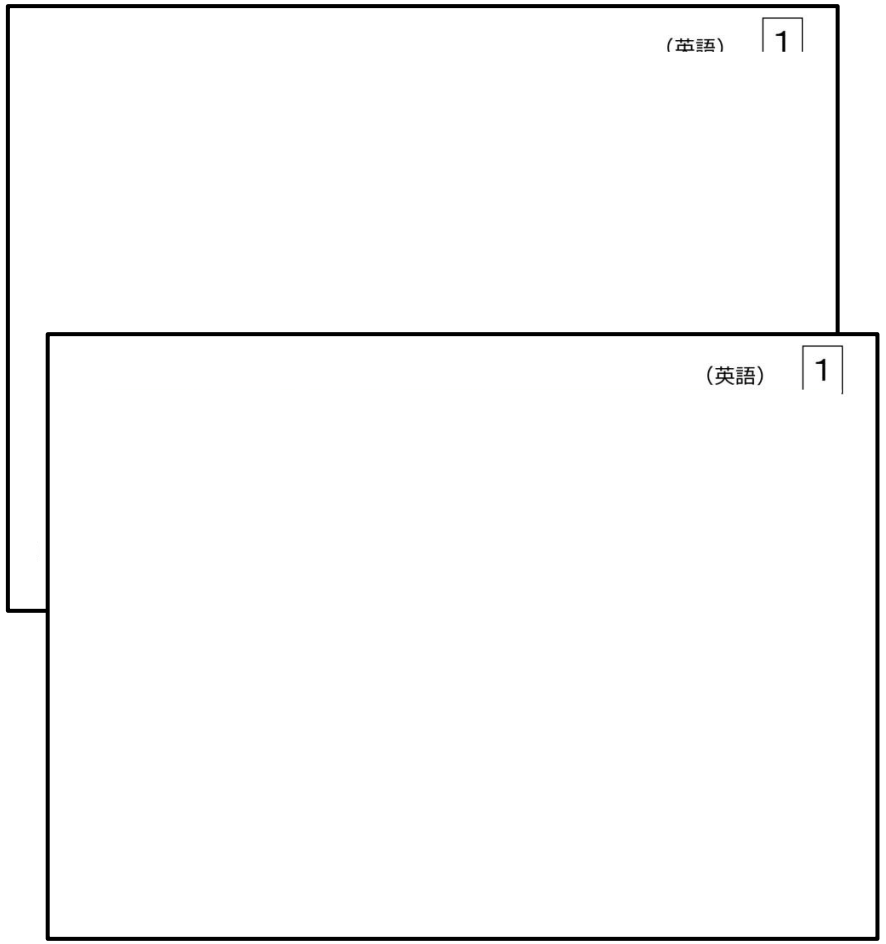
母語

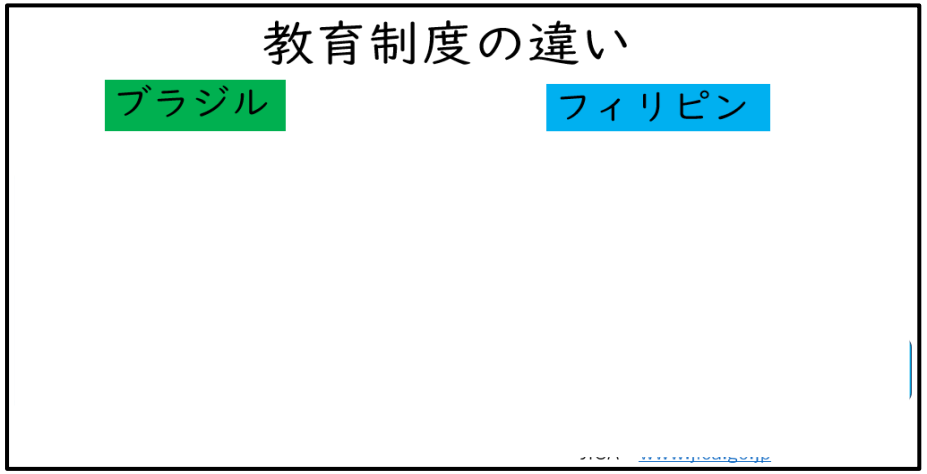
写真

③見通す

将来の見通し

◆進学ガイダンス





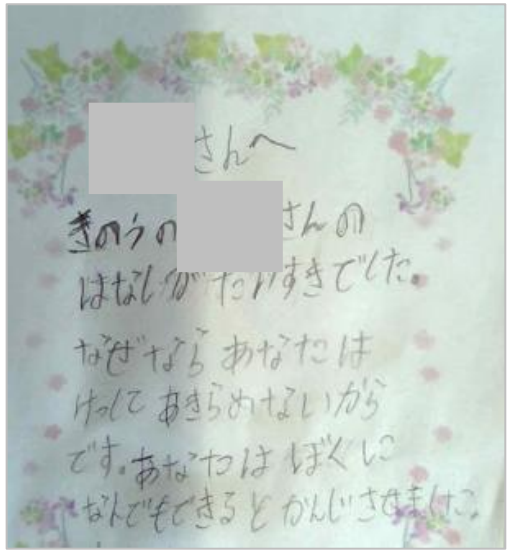
③見通す

将来の見通し

◆ロールモデルとの座談会

写真

写真



◆日本人学校との交流

写真

◆にじ修了生の職業体験

写真

「にじ」の役割

①安心して学べる環境を整える

②母国での学びや強みを
活かして、学びを育む

③在籍校と情報を共有し、
学びをつなぐ

「にじ」の課題

①安心して学べる環境を整える

母語話者が少なく、子どもや保護者の不安などを十分に受け止めることができない。

→指導人員の確保、地域支援との連携

②母国での学びや強みを活かして、学びを育む

母語やこれまでの学びを活かす授業の工夫を広める仕組みが十分でない。

→実践例の共有、研修の活用

③在籍校と情報を共有し、学びをつなぐ

在籍校の状況により、にじ修了後の支援や学びの接続に差が生じる場合がある。

→在籍校との継続的な連携、担当者を支える体制

【参考資料】

・「外国人子供教育支援推進事業」説明資料
　　浜松市教育委員会教育支援課外国人支援グループ
https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/85593/gaikokujinkodomokyouikushiensuishinjigyou.pdf